

松澤主任研究員 日本雪氷学会平田賞を受賞

防災雪氷研究室

去る10月9日、山形市で開催された(社)日本雪氷学会全国大会において、当所道路部防災雪氷研究室の松澤主任研究員が、2002年度(社)日本雪氷学会平田賞を受賞しました。平田賞は、雪氷学の研究に顕著な成果をあげ、今後の発展を奨励することが適当と考えられる若手の正会員に与えられる賞で、日本雪氷学会の初代会長である平田徳太郎氏にちなんで名付けられたものです。この賞は、最近5年間程度の研究業績を基に選考され、毎年若干名が受賞しております(2002年度は3名)。

今回の受賞研究テーマは、「気象条件からの視程推定に関する研究」で、吹雪時における視程を、降雪強度と風速から推定する手法を明らかにしたもので、雪氷防災の分野において広範な活用の可能性があることが評価されました。

道路における視程障害の監視には、視程計が用いられていますが、設置箇所は一部の箇所に限られており、広域的な吹雪の発生状況を把握するには不十分でした。そこで、比較的容易に得られる風速や降雪強度から、視程障害の程度を推定する手法を検討し、視程が1000m以下の範囲では、実測値と推定値が比較的良く一致することを示しました。

この視程推定手法は、道路における視程障害の広域監視や、将来的な広域の吹雪予測への発展が期待でき、ドライバーが安全かつ適切な経路選択を行う上で有効な吹雪情報の提供に活用できると考えられます。

なお、この研究に関しては、北海道開発土木研究所月報2002年10月号にも報文掲載していますので、参考にしてください。

(文責：加治屋 安彦)



松澤 勝 主任研究員